

2017年1月1日より 医療療養病棟 は 地域包括ケア病棟へ 転換します

地域包括ケア病棟とは・・・

「ときどき入院、ほぼ在宅」

ときどき入院で からだを整え

“生活力” を高めることで、住み慣れた地域で暮らし続けることを支えます

「地域包括ケア病棟」の **入院日数** は 最長 **60** 日間です

必要に応じ**40分以上の個別リハビリ**に加え
セラピストが生活動作に主眼を置いたリハケアを実践いたします

対象患者

急性期の治療を終えた方の受け入れ



- 治療後の状態が安定し、在宅復帰にむけてリハケアが必要なケース
- 回復期リハ病棟でのリハビリ後、在宅復帰にむけてリハケアが必要なケース
- 継続した医療ケアが必要なケース：酸素療法・喀痰吸引・血糖測定・褥創処置 等



在宅生活の継続が一時的に困難となった方の緊急時の受け入れ



- 点滴・酸素等の治療を必要とするケース：肺炎・尿路感染症・脱水等
- 腰椎圧迫骨折などの保存療法のケース
痛み等で動けなくなったケースの疼痛コントロールと動作指導



SCD/糖尿病等の教育入院・リハ機能付きレスパイトケア*・看取り



- 難病で動作の習得・環境の調整・介助方法の指導が必要なケース
- 糖尿病の教育入院
- 在宅生活を継続していくため定期的に レスパイトケア が必要なケース
- がん性疼痛のコントロール



リハ機能付きレスパイトケア*

- ・ ADL評価や、在宅でのよりよい介助方法の提案・指導をします
- ・ 一度リハ機能付きレスパイトケアを受けると退院後3ヶ月は利用できません
* 難病及び悪性腫瘍は1ヶ月

退院支援

在宅復帰のための支援

- 必要な心身機能の回復と
地域で暮らす気持ちの準備
→ 院内多職種協働



- 安心して在宅生活を送るために
必要な在宅サービス等を受けるプランニング
→ 地域内多職種協働



お問い合わせはこちらまで